

令和2年8月20日 00496号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】武道館エントランスの光景！

8月9日(日)武道館弓道場の中庭は、晴天による光と影が鮮やかに分かれました。刈ったばかりの緑の芝生も、くっきり現れた黒い影に引き立てられています。今日の平均気温は約20度。熱くもなく寒くもなく、オホーツクブルーに浮かぶ白い綿雲も、穏やかな一日を約束してくれ、武道の広場エントランスは平和と幸せを感じさせてくれます。9時31分撮影 〈坪井/清水〉



武道振興協会事務所の花シリーズ「コスモス」自宅のコスモスが朝日を浴びながら、爽やかな風に



揺れています。甘い香りを漂わせるのか、丸いミツバチが蜜集めにとびかいます。弓道場にスズメバチが侵入！8月18日(火)19時30分 武道館弓道場に「スズメバチ」が2匹入ってきました。

“生活救急車”によると、「7月～10月は、攻撃的な時期の中でも、秋口は特に注意が必要です。秋口には、繁殖に必要なオスの蜂や、新しい女王が生まれるため、大量の餌が必要になるにもかかわらず、餌となる昆虫が減ってくるため気が立っていて、非常に凶暴になっているので注意しましょう。」とのこと。その上、オオスズメバチが狩りでほかの蜂の巣を襲うので、どの種類のスズメバチも警戒心が高くなっていて、攻撃的になっていてとても危険とのこと。実は、このことを知ったのは、スズメバチ用殺虫剤で駆除した翌日の事でした。怖！〈佐藤〉



連載 嘉納治五郎師範の教え 柔道の教育的価値「柔道を教育に役立てることについて」⑩ 私が講道館を開く迄は、柔道の攻防の面だけが修練されていたに過ぎず、これを柔術、時には身体を扱う術を意味します。体術とか、柔らかく扱う意味の柔と言う名称の下で稽古されておりました。しかし、私は普遍の原理を学ぶことが、単に柔術を修行するよりも重要であると考えに至りました。と申しますのは、この原理を本当に理解すれば、人は自分が生きてゆく上で、必要な全ての事柄にこの原理を応用して上手にやって行くことが出来るし、更に柔術の技も磨けるので、大きな利益を得ることが可能なのです。人がこの原理を修得するには、私が行いました方法に依るだけではありません。人が日常の執務に対する冷静な判断力や、抽象的な哲学的な思索する力からでも、同じ結論に達することが出来ます。しかし、私が柔道を教え始めた時、私が目的達成の為に学んだと同じ方法で行うのが、賢明であると考えました。なぜならば、そのやり方を用いれば、門人は身体を健康に、壮健に、やすやすと動けるようになります。同時に普遍の原理も順々に判るようになるからです。この故に私は柔道の指導を乱取と形の稽古で始めたのです。・・・つづく(講道館ネット配信より)